

園芸科学科

飛騨特支との交流

ブドウの模擬収穫体験

ブドウ模擬収穫で交流

ブドウの模擬収穫を体験する
中学部の生徒ら＝高山市山田
町、飛騨特別支援学校



飛騨特支校と飛騨高山高生

高山市山田町の飛騨特別支援学校と飛騨高山高校山田キャンパスの生徒が、同支援学校でブドウの模擬収穫体験などを通じて交流を深めた。

同校の交流は長年続く伝統行事で、年3回行っている。今回は本年度2回目である。同支援学校中学部の35人と同高校園芸科学科の生徒16人が参加した。

同科の生徒が、校内の果樹園で育てて収穫したブドウ「ヒムロッドシードレス」を持参。中学部の生徒は、

収穫のタイミングや方法を教えてもらった後、高校生が準備してくれたブドウを使って室内で模擬の収穫体験をさせてもらった。

試食もし、「甘くておいしい」「どれだけでも食べられる」と生徒たちは歓声を上げながらおいしそうに頬張った。

(玉田健太)